

【博士前期課程】

主な入試制度として、一般入試、学部生推薦入試、外国人留学生入試、社会人入試、シニア特別入試などがあります。入試は9月と2月に行なわれます。その他に、資格取得者入試、大学院生入試、外国人留学生推薦入試などもあります。詳細は「入学試験要項」を必ず参照してください。

■一般入試

試験科目 1. 専門科目：次の科目の中から1科目を出願時に選択すること。

現代経済システム専攻	ミクロ経済学、マクロ経済学、労働経済学、環境経済学、経済成長論、産業組織論、計量経済学、経済政策、国際経済学、財政学、金融論、社会保障論、西洋商業史
経済情報専攻	ミクロ経済学、マクロ経済学、経済成長論、産業組織論、計量経済学、システム科学、情報数学、情報通信論、情報社会論、ソフトウェア、シミュレーション論、プロジェクトマネジメント、環境ガバナンス、コンピュータグラフィックス

試験科目 2. 英語または数学：英語、数学（線型代数および微分積分学）のうちから1科目を出願時に選択。

（注）2024年度または2025年度に、TOEIC L&R 730点以上、TOEFL iBT 70点以上を取得した者は、英語試験を免除し（満点）、これらの得点で英語試験の得点に代替することができる。

試験科目 3. 口述：試験科目および研究計画書をもとにして、学業成績、研究意欲等について行う。（10～15分程度）

■学部生推薦入試

口述試験：提出された研究計画書をもとにして、学業成績、研究意欲等について行う（15～20分程度）。
なお、専門科目の受験は免除する。

出願資格 次のいずれかに該当する者。

- 1) 日本国内の大学の、経済学、経営学、商学、情報系、環境系の学部、学科に在学し、3年次終了時に卒業所要単位数のうち110単位以上を修得していて、そのうち、A（優）評価以上が44単位以上あるもの。（3年次在学の場合は見込み可）
- 2) 日本国内の大学の、上記以外の学部、学科に在学する者については、「入学試験要項」参照。

■外国人留学生入試

試験科目 1. 専門科目：次の科目の中から1科目を出願時に選択すること。

現代経済システム専攻	一般入学試験で示した13科目の中から1科目を出願時に選択。
経済情報専攻	一般入学試験で示した14科目の中から1科目を出願時に選択。

試験科目 2. 日本語：語学辞書（電子式は除く）2冊まで持込み可。ただし、専門用語辞典およびそれに類するものの持込みは不可。
（注）2024年度または2025年度実施の日本学生支援機構が行う日本留学試験の日本語を受験した者は、日本語試験を免除し、日本留学試験（日本語）の得点で日本語試験の得点に代替することができる。

試験科目 3. 口述：試験科目および研究計画書をもとにして、学業成績、研究意欲等について日本語で行う（10～15分程度）。

■社会人入試・シニア特別入試

試験科目 1. 小論文：研究論文を作成する能力をみる。

試験科目 2. 口述：提出された研究計画書をもとにして、学業成績、研究意欲等について行う（20分程度）。
＊社会人入試・シニア特別入試の出願資格については、「入学試験要項」参照。

【博士後期課程】

一般入試、外国人留学生入試、社会人入試、シニア特別入試を9月と2月に行います。

■一般入試

試験科目 1. 英語〈語学辞書（電子式は除く）2冊まで持込み可。ただし、専門用語辞典およびそれに類するものの持込みは不可〉
試験科目 2. 口述：研究計画書をもとにして、学業成績、研究意欲等について行う。

■外国人留学生入試

試験科目 1. 英語（日本語または英語で解答する）

〈語学辞書（電子式は除く）2冊まで持込み可。ただし、専門用語辞典およびそれに類するものの持込みは不可〉

試験科目 2. 口述（日本語又は英語で行う）：研究計画書をもとにして、学業成績、研究意欲等について行う。

■社会人入試・シニア特別入試

試験科目 1. 口述：研究計画書をもとにして、学業成績、研究意欲等について行う。

＊社会人入試・シニア特別入試の出願資格については、「入学試験要項」参照。

問い合わせ先



広島修道大学 大学院 経済科学研究科

〒731-3195 広島県広島市安佐南区大塚東 1-1-1

入試に関して

入学センター TEL(082)830-1100

その他全般に関して

教学センター第1課 TEL(082)830-1304

2027

広島修道大学大学院 経済科学研究科 案内



広島修道大学

研究科の紹介



経済科学研究科長 岡村 和明

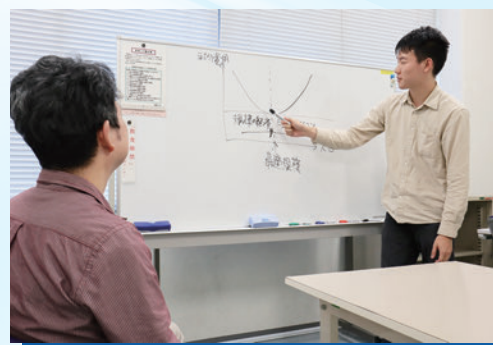
経済科学研究科では、情報化の進展を要因の1つとしてますます複雑化する経済社会を情報科学の手法を用いて様々な分析する力を修得します。このような理念・目標のもとに、まず2001年4月に経済科学研究科博士前期（修士課程）が設置され、さらに2003年4月に同博士後期課程が増設されました。また、本研究科には現代経済システム専攻と経済情報専攻の2専攻があります。現代経済システム専攻では経済学、経済情報専攻では情報科学に教育・研究のweightが置かれます。高度な専門性を有する研究者や専門職業人を養成するとともに、社会人のキャリアアップや生涯学習の機会も提供します。

特色について

1. 体系的かつ豊富な科目群

博士前期課程では、両専攻の共通科目、各専攻を特徴づける専門科目、特講科目、実務家担当科目、英語科目など、多種多様な科目を体系的に用意しています。

博士後期課程でも、各専攻の発展的な専門科目を体系的に用意しています。



2. 社会人も学びやすい就学環境

博士前期課程では、社会人の就学を容易にするために昼夜開講制を導入し、社会人学生には原則として平日の夜間（18:30～21:35）に開講します。一般学生の授業は月～金曜の昼間（9:00～18:00）に行います。なお、博士前期課程では、従来の修士論文審査による学位授与に加え、特定の課題についての研究成果「課題研究論文」を審査することで修士論文審査に代替する方法も採用しています。これにより、社会人学生が勤務先の日常業務を通じて取り組む特定課題について研究し、それを「課題研究論文」としてまとめて修士の学位を修得することができます。



3. 半年完結のセメスター制

本研究科は、1年間を前期・後期に分け、様々な専門科目を集中的に履修していくセメスター制を採用しています。セメスターごとに完成した授業科目を学習することで、より系統的な学習が可能となり、各自の興味、関心に応じた計画の修正や組み直しが容易となります。



学位授与に関して

博士前期課程、博士後期課程の修了要件は、以下のようになっています。

博士前期課程	修士論文提出者 研究指導8単位を含め各専攻ごとに定められた授業科目30単位以上を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格すると学位が授与されます。
	課題研究論文提出者 課題研究計4単位と各専攻ごとに定められた授業科目30単位以上、合計34単位以上を修得すると学位が授与されます。
	2専攻とも修士（経済学または経済情報）の学位が取得できます。種類は研究内容により決まります。
博士後期課程	指導教員が担当する「 特殊研究指導 」を12単位修得し、 学位論文の審査および最終試験に合格 しなければなりません。学位は次の通りです。 ■ 現代経済システム専攻 博士（経済学） ■ 経済情報専攻 博士（経済情報）

入学・収容定員について

各専攻の入学定員・収容定員は、以下のようになっています。

	現代経済システム専攻		経済情報専攻	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
博士前期課程	4	8	2	4
博士後期課程	2	6	2	6

教職課程

本研究科では、所定の単位を修得すれば、次の専修免許状を取得することができます。

現代経済システム専攻	中学校教諭専修免許状	社会
	高等学校教諭専修免許状	公民
経済情報専攻	高等学校教諭専修免許状	商業
	高等学校教諭専修免許状	情報